

# 以下 記載例

計画書様式第2号 事例1・2を基に

(事例1－①育成、②強化)

→ (事例2－①育成、②強化) 記載例としています。

記載例 「事例2 - ① + ②」

[本申請書 様式第1号]

令和 年 月 日

公益財団法人 酒田市スポーツ協会  
会長 齋藤 隆 あて

団体名 酒田ハンドボール協会

代表者名 会長 鳥海太郎 印

令和 年度酒田市スポーツ協会競技力向上対策の  
チーム・選手 (育成・強化) 事業の助成金交付について (申請)

標記につきまして、酒田市スポーツ協会競技力向上対策のチーム・選手 (育成・強化) 事業を実施しますので、下記のとおり交付していただきますよう関係書類を添えて申請します。

記

- 1 助成金申請額 337 千円 (306,780+30,678)
- 2 事業計画 別紙様式 (1) 号～ (3) 号のとおり
- 3 特記事項 インターハイ山形県大会で3位以内を目指す  
東北大会ベスト3を目指す

(連絡先) 住 所 酒田市本町1丁目1番1000号

電話番号 0234-25-1000

氏 名 酒 田 玉 郎

- (1) 助成金を交付申請の目的以外に使用しないこと。
- (2) 助成金の2割以上の増減、及び交付申請の内容を変更する場合は、あらかじめ (公財) 酒田市スポーツ協会長にその旨を文書で申請し、(公財) 酒田市スポーツ協会長の承認を得ること。

記載例 「事例2 - ① + ②」

育成・強化事業の収支予(決)算書

団体名 酒田ハンドボール協会

【収入の部】

項目	金額	説明
市スポーツ協会助成金	306,780	育成 141,380 円 + 強化 165,400 円
〇〇協会・連盟 負担金	120,000	育成謝金 30,000 + 強化 (招聘 60,000 + 賃借 30,000)
個人負担金		
事務経費	30,678	市スポーツ協会助成金 × 10%
合計	457,458	

【支出の部】

項目	金額	説明
指導者謝金	170,000	育成 1 人 × 1 日 × 20,000 円 (仙台) 育成 1 人 × 1 日 × 130,000 円 (東京) 強化 2 人 × 2 日 × 5,000 (酒田)
会場費	31,780	(育成) 国体記念体育館 1,170 * 7 時間 * 2 日 (強化) 鳥海グラウンド 1,100 * 7 時間 * 2 日
通信運搬費	5,000	
報償費 (招聘費)	160,000	強化 80,000 * 2 校
賃借料	60,000	レンタカー 30,000 * 2 日
事務経費	30,678	
合計	457,458	

- ※ 1 事業に要した経費 (個人負担金・団体持出し等) 全て記入してください。  
2 助成対象経費の領収書 (コピー可) を必ず添付してください。

## 記載例 「事例2-①育成」

別紙様式(1) 令和 年度育成・強化事業練習等実施計画(報告)書

団 体 名 酒田ハンドボール協会

記載責任者 酒田玉郎

### 1 実施回数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施回数				1	1								2 回
参加人数	指導者			1	1								2 人
	選手			30	30								30 (60) 人

### 2 主な練習場所

施設名	国体記念体育館
練習時間	10:00~17:00

### 3 事業の主な計画・報告

日本ハンドボール協会指導委員の日本太郎氏より山形県及び東北の各種大会で優勝或いはベストスリーを確保しインターハイ、国体に出場するチーム・選手を育成するために技術、メンタル面の重要性を選手に理解してもらう。

又、翌月の8月は東北大会で優勝経験のある東北一郎氏を講師に実技を中心に練習を行いたい。

### 4 目標・成果および所管

現状においては、所属する各学校に専門的な知識のある顧問が不在であります。

このため指導方針が確立していなく選手同士が自己流で練習をしてきたが、今回の事業計画で一人一人が具体的な練習方法を決め長所、短所を自覚することで、長所をみっちり鍛える計画にしたい。

記載例 「事例2-①育成」

別紙様式(1)-2 令和 年度育成・強化事業計画参加者名簿

団 体 名 酒田ハンドボール協会

記載責任者 酒田玉郎

1 指導者(講師)名簿

No	氏名	年齢	〒 現住所	電話番号
1	日本太郎	45	105-0001 東京都港区虎の門000	03-437-0001
2	東北一郎	38	998-0807 仙台市青葉区10丁目1-1	022-225-1000

2 参加者名簿


No	氏名	性別	学校名	学年
1	酒田1男	男	県立飯森山高校	2年
2	酒田2男	男	県立飯森山高校	2年
3	酒田3男	男	県立飯森山高校	2年
4	酒田4男	男	県立飯森山高校	2年
5	酒田5男	男	私立酒田高校	2年
6	酒田6男	男	私立酒田高校	1年
7	酒田7男	男	私立酒田高校	1年
8	酒田8男	男	私立酒田高校	1年
9	酒田9男	男	私立酒田高校	1年
10	酒田10男	男	私立酒田高校	1年
11	酒田11男	男	私立酒田高校	1年
12	酒田1女子	女	県立酒田女子学園	2年
13	酒田2女子	女	県立酒田女子学園	2年
14	酒田3女子	女	県立酒田女子学園	2年
15	酒田4女子	女	県立酒田女子学園	2年
計	30名			

記載例 「事例2 - ②強化」

別紙様式(2) 令和 年度育成・強化事業合宿(遠征)計画(実施報告)書

団体名 酒田ハンドボール協会

記載責任者 酒田玉郎

実施期間	令和4年7月30日(土)～令和4年7月31日(日) 1泊2日	
合宿(遠征)地	酒田市	
練習会場	会場名	国体記念体育館
	所在地	酒田市飯森山2-296-1
宿泊所	宿舎名	
	所在地	
参加者	指導者(コーチ)2人・選手15(30)人 計17(32)人(別紙参加者名簿のとおり)	
練習内容	<p>当連盟は、中学校でのハンドボール経験者がほとんどなく各学校の顧問がこれまでの知識をもって対応してきた。しかし、今回2校から選抜した選手はこれらのハンディを克服するほど熱心に練習に取り組んでいることから、2、3年後は山形県代表となり全国高校ハンドボール選抜大会に出場する気構えでいる。</p> <p>このことから、1日目は中央から日本ハンドボール協会指導委員から、全国大会へ挑む体力、メンタルケアの育成方針を、2日目は東北ハンドボール協会が強豪校を育成経験ある指導者を招いて実践方式の練習を行う。</p> <p>併せて、令和2年度全国高校ハンドボール選抜大会に出場経験のある秋田県立湯沢高校、宮城県立利府高校の2校を招聘し練習でその実力を体験していただく計画である。</p>	
所感		

記載例 「事例2-②強化」

別紙様式(2) - 2 令和 年度育成・強化事業合宿(遠征)計画参加者名簿

団 体 名 酒田ハンドボール協会

記載責任者 酒田玉郎

NO	コーチ・選手	氏 名	勤務先・学校名	学年等
1	コーチ	飯森 1	日本ハンドボール協会指導委員	45 歳
2	同上	飯森 2	東北ハンドボール協会普及員	38 歳
1	選手	酒田 1 男	県立飯森山高校	2 年
2	同上	酒田 2 男	県立飯森山高校	2 年
3	同上	酒田 3 男	県立飯森山高校	2 年
4	同上	酒田 4 男	県立飯森山高校	2 年
5	同上	酒田 5 男	私立酒田高校	2 年
6	同上	酒田 6 男	私立酒田高校	1 年
7	同上	酒田 7 男	私立酒田高校	1 年
8	同上	酒田 8 男	私立酒田高校	1 年
9	同上	酒田 9 男	私立酒田高校	1 年
10	同上	酒田 10 男	私立酒田高校	1 年
11	同上	鳥海 1 雄	私立酒田高校	2 年
12	同上	鳥海 2 雄	私立酒田高校	2 年
13	同上	鳥海 3 雄	県立飯森山高校	1 年
14	同上	鳥海 4 雄	県立飯森山高校	1 年
15	同上	鳥海 5 雄	県立飯森山高校	1 年
計	15 名			

記載例 「事例2-①育成」

別紙様式(3) 【県外指導者(トップコーチ)招聘の場合】  
 令和 年度育成・強化事業研修会実施計画(報告)書  
 団体名 酒田ハンドボール協会

記載責任者 酒田玉郎

開催期日	令和4年7月30日(土)			
会場	会場名	国体記念体育館		
	所在地	酒田市飯森山2-296-1		
講師	氏名	日本太郎 (45歳)	所属	日本ハンドボール協会 指導委員
	現住所	〒105-0001 東京都港区虎ノ門000 ☎03-437-0001		
	プロフィール	△△男子チーム世界選手権第3位、○×年世界選手権男子チームコーチ等		
参加者数	指導者1人 ・ 選手30人 ・ その他(3)人 計 34人			
講習内容	山形県及び東北の各種大会で優勝或いはベストスリーを確保しインターハイ、国体に出場するチーム・選手を育成するために技術、メンタル面の重要性を選手に理解してもらう。			
所感				